

登録コード	HM120100	開講年度	2026					
授業題目	形成再建外科学特論				担当教員	杠 俊介 他		
英文授業名	Plastic and Reconstructive Surgery				副担当	常川 主裕		
単位数	4	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	
講義室			授業形態	講義	備考			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)		
	2026HM医学分野初, 2025HM医学分野初, 2024HM医学分野初, 2023HM医学分野初							
	【研究科共通_2024年度以前カリキュラム対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力				⇔	形成再建外科学の医学・保険分野での役割を具体的に説明できるようになる。		
	【研究科共通_2024年度以前カリキュラム対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観				⇔	研究者として社会から求められる倫理観を身に付けられる。		
	【専攻】医学・保健学研究の専門分野近傍の課題に対して新たな知見・技術を生み出す応用力				⇔	形成再建外科学における現時点の課題を見出し、それを克服するためにどのような研究が必要か具体的に計画し実行できるようになる。		
(2)詳細 /Detailed information	形成再建外科学の各専門分野における基礎的および臨床研究を遂行するために必要となる解剖学、組織学、細胞培養法、画像解析、顔面計測学、統計学などについて理解する。							
(3)授業の概要 /Overview of course	形成再建外科学に関する独創的な研究を遂行するために必要な最新の知識と研究手法について解説する。							
(4)授業計画 /Course plan	1. 小児形成外科（第1回） 2. 先天異常（第2～3回） 3. 血管腫血管奇形（第4回） 4. 創傷治癒と組織再生（第5～8回） 5. 組織移植（第9～10回） 6. 再建外科（第11～12回） 7. 血管柄付組織移植（第13～14回） 8. リンパ浮腫（第15回） 9. 研究事例の調査と取りまとめ（第16～20回） 10. 研究事例の報告（第21～26回） 11. 研究事例に関する議論（第27～30回）							
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	授業計画の各分野終了後にレポートを提出し、理解度を100点満点で評価する。90点以上秀、80－90点優、70－80点良、60－70点可、60点以下不可とする。							
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	レポート作成のためのパソコン環境をそろえ、その操作に習熟すること。							
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。教室に来ていただいても良い。メールでの質問も受け付ける。							
(8)授業の形式 /Course format	毎回講義終了後に復習を心がけること。研究事例の取りまとめや報告、議論にはパソコンを用いたプレゼンテーションが必要となるので、その環境を整えること。							